

「介護ロボット等による生産性向上の取組に関する効果測定事業」実証施設 募集のご案内

介護ロボット等による生産性向上に 取り組んでみませんか？

～取組についての効果検証を行います～

生産年齢人口が減少し、労働力の確保に向けた制約が強まる中、介護サービスの質を維持・向上させるため、介護現場において、ICT、介護ロボット等のテクノロジーの活用やいわゆる介護助手の活用等による生産性向上の取組(以下、「介護ロボット等による生産性向上の取組」という。)を推進することは重要です。

本事業は、介護施設に対し介護ロボット等による生産性向上の取組について支援を行った上で、当該取組による効果実証を実施するとともに、実証から得られたデータの分析等を行い、今後の介護報酬改定の検討等に資するエビデンスの収集等を行うことを目的としております。

介護ロボットの導入や介護助手の活用等に取り組む、実証事業にご参加いただける施設を募集します。

募集テーマと 対象施設(予定)



① **【夜間見守り】**見守り機器等を活用した夜間見守りによる生産性向上の取組(40 施設)

対象施設:介護老人福祉施設(従来型・ユニット型)、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護、介護医療院 等

② **【パッケージ】**介護ロボットの活用による生産性向上の取組(移乗支援、排泄予測、介護業務支援(ICT 機器)の3種それぞれに対し、連携可能な機器の組み合わせ)(40 施設)

対象施設:介護老人福祉施設(従来型・ユニット型)、介護老人保健施設、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護医療院 等

③ **【介護助手】**介護助手の活用による生産性向上の取組(20 施設)

対象施設:介護老人福祉施設(従来型・ユニット型)、介護老人保健施設、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護医療院 等

④ **【提案型】**介護事業者等からの提案手法による生産性向上の取組(10 施設)

対象施設:介護老人福祉施設(地域密着型含む)及び介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設、特定施設入居者生活介護(地域密着型含む)、短期入所生活介護、短期入所療養介護、認知症対応型共同生活介護のサービスを提供する施設

【テーマ①～③実証の概要】

■ 実証においてご協力いただく内容

1. 施設における実証研究責任者の選定
2. 実証研究を行うユニット、フロアの選定(実証テーマにより異なります)
3. 対象利用者の選定、利用者への説明(同意取得 等)
4. 実証研究に関わる施設職員に対する説明、取組に関する職員への講習会等の実施
5. 生産性向上の取組の実施(約 6 か月間)
6. 調査へのご協力(タイムスタディ調査、アンケート調査、ケア記録調査等、及び実証終了後にヒアリング調査)

※実証にご協力頂く施設には、謝金をお支払いいたします。

実証中に使用する機器は基本レンタルとなります。

■ 募集期間 令和 4 年 4 月～5 月 13 日(金)まで(応募状況によります)

■ 実証スケジュール(予定)

- 2022 年 6 月 事前調査(取組前の実態把握の調査)
- 7 月 生産性向上の取組の開始(機器の導入等)
- 10 月 事後調査①(取組後の調査 1 回目)
- 12 月 事後調査②(取組後の調査 2 回目)
- 施設向け・職員向けヒアリング
- ～2023 年 1 月 機器撤収(機器利用ありの場合)

【テーマ④実証について】

テーマ④実証については、以下 URL をご参照ください。(「三菱総合研究所 公募情報」で検索いただけます)

https://www.mri.co.jp/news/public_offering/20220420.html

【お問い合わせ方法】

事業に関するお問い合わせは以下の宛先をお願いいたします。

令和 4 年度厚生労働省委託事業

「介護ロボット等による生産性向上の取組に関する効果測定事業」

【委託先】株式会社三菱総合研究所 ヘルスケア&ウェルネス本部

「介護ロボット等による生産性向上の取組に関する効果測定事業」事務局

e:mail:info-r4-robot@ml.mri.co.jp

◆ 本事業の事業概要などの詳細資料については、厚生労働省ホームページをご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/robot_jissyou.html